

RPF焚ボイラ

1 製品特長

RPF(Refuse derived paper and plastics densified Fuel)を燃料として使用するボイラです。「RPF」とは古紙及び廃プラスチック類のうち、マテリアルリサイクルが困難であるものを原料とした固形燃料です。RPFの品質基準はJISで規定されています(JIS Z7311:2010)。油焚、ガス焚ボイラから転換することで、コスト削減が大きく期待できます。

2 概要

燃料自動投入、自動排出が可能です。自動着火システムを搭載しています。燃焼炉は1t/h~3t/hは固定床方式、4t/h~12t/hはストーカ方式です。

3 定格出力

1t/h~3t/h、小型貫流式 4t/h~12t/h、横型煙管式
蒸気圧力0.98MPa 高圧のボイラも製作可能です。

4 RPF焚ボイラ設備導入の推奨条件

- (1) ボイラが24時間稼働であること。
- (2) ボイラ技士が常駐していること。
- (3) RPF焚ボイラ設備の設置場所、RPF燃料のストックヤードの確保が可能であること。

※上記の条件以外でも導入
メリット提案は可能です。

